



永田クラブ、経済研究会へ公表

報道資料

令和 8 年 3 月 23 日
内閣府地方創生推進事務局

未来技術社会実装事業（令和 8 年度）の選定について

「未来技術社会実装事業」は、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術の実装による新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から先導性と横展開可能性等に優れた提案について、社会実装に向けた現地支援体制を構築するなど、関係府省庁による総合的な支援を行うものです。

平成30年度より、未来技術社会実装事業としてこれまで59事業の支援を実施しているところであり、選定事業ごとに地域実装協議会を組織し、社会実装に向けたワンストップ支援を実施しています。また、スマートシティ関連事業として、提案の公募・採択・実施について関係府省庁一体で取り組んでいます。

今般、地方公共団体から応募のあった事業のうち、事業内容、期待される効果、地方創生への寄与（先導性、横展開可能性）等に優れた事業について、審査会の評価を踏まえ、添付資料1のとおり新たに選定しましたのでお知らせします。

今後、社会実装に向けた現地支援体制（地域実装協議会）を構築するなど、関係府省庁による総合的な支援を行ってまいります。

記

未来技術社会実装事業（令和 8 年度選定）：12 事業

以上

- <添付資料 1> 未来技術社会実装事業（令和 8 年度）選定事業一覧
- <添付資料 2> 未来技術社会実装事業 令和 8 年度選定事業概要
- <添付資料 3> 未来技術社会実装事業について

【担当・問合せ先】

内閣府 地方創生推進事務局
外村、金井、田中、松村（03-6206-6175）

令和 8 年 3 月 23 日

内閣府地方創生推進事務局

未来技術社会実装事業（令和 8 年度） 選定事業一覧

No.	選定者	タイトル	主な活用技術
1	北海道 わっかないし 稚内市	自動運転の実装による「安心・快適・クリーン」なまちづくりの実現	自動運転
2	千葉県 そでがうらし 袖ヶ浦市	「想像を超える」袖ヶ浦市のみらいモビリティ ～自動運転社会実装推進プロジェクト～	自動運転
3	東京都 あだちく 足立区	「持続可能な公共交通を実現する未来都市・あだち」へ向けた 自動運転実装事業	自動運転
4	東京都 はちおうじし 八王子市	産官学共創による「八王子市地域未来戦略」	自動運転
5	神奈川県 よこはまし 横浜市	生成 AI を活用した自治体相談サービス「よこはまランタン」の 全国展開モデル構築事業－医療分野における信頼性担保型 AI 社会実装－	AI
6	神奈川県 さがみはらし 相模原市	自動運転バスの導入により、既存バス路線の代替と運転士不足の解消を 図るとともに、住み続けたいくなる「選ばれるまち」を実現する。	自動運転
7	静岡県	静岡県次世代エアモビリティ社会実装プロジェクト	次世代 エアモビリティ
8	静岡県 ふくろいし 袋井市	行動データを活用した要介護認定プロセスのデジタル化	AI
9	愛知県 ひがしうらちょう 東浦町	交通空白地域の解消と共助交通の未来 ～自動運転技術による持続可能な移動サービスの社会実装～	自動運転
10	三重県 よっかいちし 四日市市	中枢中核都市における自動運転バスの導入による中心市街地回遊性向上	自動運転
11	広島県 おのみちし 尾道市	先進技術で尾道の海を次世代へとつなぐ	IoT
12	宮崎県 つのちやう 都農町	次世代モビリティによる活気あるまちづくりを目指す近未来技術実装事業	ドローン

(都道府県・市区町村コード順)

未来技術社会実装事業 令和8年度選定事業概要

選定事業一覧

No.	選定者	タイトル
1	北海道稚内市	自動運転の実装による「安心・快適・クリーン」なまちづくりの実現
2	千葉県袖ヶ浦市	「想像を超える」袖ヶ浦市のみらいモビリティ～自動運転社会実装推進プロジェクト～
3	東京都足立区	「持続可能な公共交通を実現する未来都市・あだち」へ向けた自動運転実装事業
4	東京都八王子市	産官学共創による「八王子市地域未来戦略」
5	神奈川県横浜市	生成AIを活用した自治体相談サービス「よこはまランタン」の全国展開モデル構築事業 ー医療分野における信頼性担保型AI社会実装ー
6	神奈川県相模原市	自動運転バスの導入により、既存バス路線の代替と運転士不足の解消を図るとともに、 住み続けたい「選ばれるまち」を実現する。
7	静岡県	静岡県次世代エアモビリティ社会実装プロジェクト
8	静岡県袋井市	行動データを活用した要介護認定プロセスのデジタル化
9	愛知県東浦町	交通空白地域の解消と共助交通の未来～自動運転技術による持続可能な移動サービスの社会実装～
10	三重県四日市市	中枢中核都市における自動運転バスの導入による中心市街地回遊性向上
11	広島県尾道市	先進技術で尾道の海を次世代へとつなぐ
12	宮崎県都農町	次世代モビリティによる活気あるまちづくりを目指す近未来技術実装事業

(都道府県・市区町村コード順)

事業概要【北海道稚内市】

提案タイトル

自動運転の実装による「安心・快適・クリーン」なまちづくりの実現

提案者

北海道稚内市

対象区域の概要

宗谷岬をはじめとする雄大な自然に囲まれた稚内市は、人口約3万人、面積約761km²を有し、「水産」・「酪農」・「観光」を基幹産業とする国境のまち。現在、豊富な風力を活かし「ゼロカーボンシティ」の実現に向け取組を進めている。

背景・課題

目指す将来像

- ・市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、持続可能な生活交通基盤を確立する。
- ・二次交通の強化で観光地の価値を高めるとともに、EVバスの導入により脱炭素社会を推進する。

解決すべき課題

- ・深刻な運転手不足による既存交通網の崩壊リスクを解消する。
- ・観光拠点間の二次交通の脆弱さを解消する。

実装を目指す主な事業内容

○事業：自動運転社会実装推進事業

活用技術

事業概要

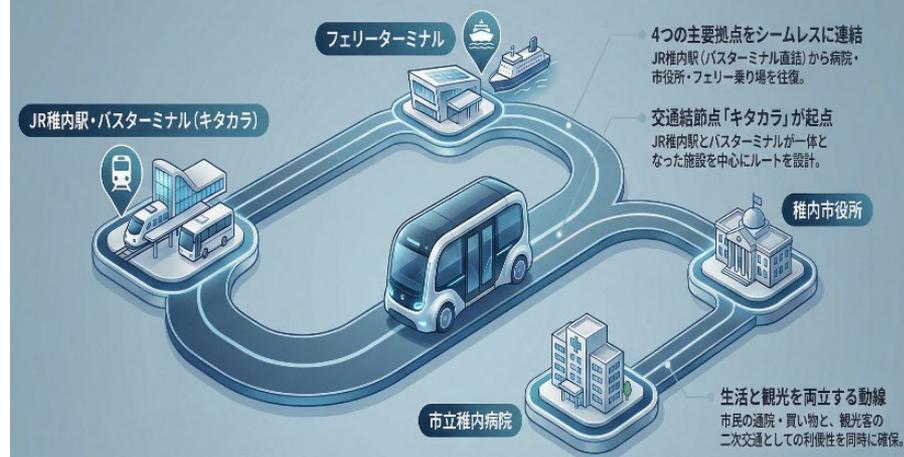
自動運転システム

・深刻な運転手不足による交通崩壊リスクを「自動運転EVバス」の社会実装によって解消し、市民の生活基盤と観光振興・環境負荷低減を同時に達成する。

・駅、バスターミナルと直結する交通結節点である施設と、フェリーターミナルを結び、さらに市役所や病院などの市民生活の重要拠点を回るルートで、「自動運転EVバス」を段階的に社会実装する。

・令和8年度はレンタル車両で技術検証や社会受容性評価を行い、令和9年度は車両を購入し、ルートを固定した実証運行を継続、令和10年度にはレベル4無人自動運行を目指す。

稚内市：次世代の移動を支える「自動運転EVバス」運行ルート案



（自動運転EVバス運行ルート案）

事業概要【千葉県袖ヶ浦市】

提案タイトル	「想像を超える」袖ヶ浦市のみらいモビリティ～自動運転社会実装推進プロジェクト～
提案者	対象区域の概要
千葉県袖ヶ浦市	本市は、千葉県の中西部に位置し、北は東京湾、東は市原市、南・西は木更津市に接している。総面積は94.93平方キロメートル、周囲は84.5キロメートルで、東西14.0キロメートル、南北13.5キロメートルに広がっている。

■ 背景・課題 ※提案事業の目指す将来像、解決すべき課題をそれぞれ2行程度で簡潔に記載すること。

目指す将来像

- ・公共交通の利便性向上による車がなくても生活できるまちの実現
- ・地域に新たな周遊ルートが生まれ地域内消費の増加や来訪者増加による地域の活性化

解決すべき課題

- ・バス路線における運転手不足や運行コストの増加
- ・交通結節点や観光資源などの地域拠点間のアクセスの悪さ

■ 実装を目指す主な事業内容 ※本格実装を目指す事業について、2～4行程度で簡潔に概要を記載すること。 (事業内容の数に応じて、適宜枠の数を調整してください)

○事業：自動運転社会実装推進事業

活用技術

事業概要

自動運転

・既存のバス路線において、自動運転レベル4のバスを運行し、運転手不足の解消と運行の効率化による持続可能な公共交通ネットワークの構築と、交通結節点と観光資源を接続することで新たな周遊ルートを創出することによる地域の魅力向上を図り、「安心して暮らせるまち」の実現を目指す。

事業の目的と目指す将来像

自動運転技術の導入

持続可能な公共交通ネットワークの構築

- ・路線バスの自動運転化
⇒運転手不足の解消
⇒運行コストや運行形態の最適化
- ・交通結節点間(BTと駅)の接続
⇒交通結節点としての機能強化

地域の魅力向上

- ・交通結節点と観光資源を直結
⇒交通利便性の向上
⇒観光、商業需要の取り込み
- ・EVの自動運転車両を導入
⇒環境負荷の低減

「安心して暮らせるまち」

- ・車がなくても生活できるまちの実現
⇒自家用車利用の抑制による渋滞緩和、駐車需要の分散
- ・地域の活性化
⇒周遊ルートが生まれ地域内消費の増加や休日の来訪者増加

事業概要【東京都足立区】

提案タイトル	「持続可能な公共交通を実現する未来都市・あだち」へ向けた自動運転実装事業
提案者	対象区域の概要
東京都足立区	東京23区の最北東に位置する足立区。面積は23区で3番目に広い53.25km ² で、人口は4番目に多い約69.3万人、高齢化率は最も高い24.4%(令和6年1月1日現在)。四方を河川に囲まれ、区内全域に市街地が広がる。

背景・課題

目指す
将来像

- ・コミュニティバス・路線バスの自動運転化による持続可能な交通手段の確保
- ・足立区での先行導入を起点とした東京23区への横展開による運転士不足対策のメリット早期発現

解決すべき
課題

- ・足立区コミュニティバス「はるかぜ」及び区内路線バスにおける深刻な運転士不足
- ・南北方向を主とした鉄道網を補完するバス網の整備及び維持

実装を目指す主な事業内容 事業:自動運転バス

活用技術

事業概要

自動運転

- ・実証運行当初から、路線認可を取得した有償での自動運転バス通運行(レベル2)を開始し、事業性の検証とともに、早期にレベル自動運転サービスを実装する。
- ・産学官連携によるコンソーシアムを立ち上げ、役割分担しながら社会実装に向けて取組むとともに、他自治体とも連携して持続可能なビジネスモデルの確立を目指す。



想定車両(ティアフォー社製「Minibus20」)

事業概要【東京都八王子市】

提案タイトル	産官学共創による「八王子市地域未来戦略」
提案者	対象区域の概要
東京都八王子市	本市の中心市街地エリアには、北側に多摩地域最大級の産業交流拠点である「東京たま未来メッセ」(R4開業)、南側に公園・ミュージアム・ライブラリが一体となった複合施設「桑都の杜」が整備中(R8.10開業予定)。これらの拠点を軸として中心市街地のさらなる活性化を目指している。【所在】八王子市中心市街地【面積】約115ha

■ 背景・課題

目指す
将来像

- ・快適に移動できる公共交通基盤の形成
- ・中心市街地の活性化の促進

解決すべき
課題

- ・八王子駅南口では桑都の杜の整備が進む一方、歩行者動線の偏在や短距離移動手段の不足、イベント時の混雑、高低差のある地形による移動負担など、中心市街地の回遊性を阻む課題が生じている。特に、南口側の移動環境が要因となり、中心市街地の北側と南側の回遊性が不足していることが課題。また、宿場町として発展を遂げた甲州街道沿道等では、商業の衰退が進んでいる。
- ・桑都の杜の開業後に、地元住民の日常の生活導線と桑都の杜への来場導線の重なりによる交通混雑が予測され課題となっている。

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：自動運転実装プロジェクト

活用技術

事業概要

自動運転バス

- ・本市の中心市街地には、北側に「東京たま未来メッセ(R4.10開業)」、南側に「桑都の杜(R8.10開業予定)」という2つの拠点が位置し、これらを核とした中心市街地エリアの活性化を進めている。
- ・まず、桑都の杜開業を契機として、短距離移動の利便性向上や高低差による移動負担が課題となっている南口エリアにおいて、八王子駅南口と桑都の杜を結ぶ自動運転バスを導入する。これにより、主要拠点間のアクセス性を強化し、中心市街地の北側と南側を面的につなぐ回遊性を向上させる。
- ・こうした取組みを起点として、甲州街道沿道等における既存店舗の活力向上や周辺店舗への集客促進を図り、エリア全体に持続的にぎわいを創出し、経済活力の向上につなげる。
- ・AI制御や遠隔監視などの研究知見を持つ、東京工科大学と連携した自動運転サービスを実装する。データ分析を通じてサービス改善を進め、八王子市ならではの先進的モビリティモデルを確立する。
- ・市民・商店会・大学など多様な主体と協働し、自動運転を核とした持続可能な移動サービスを構築する。また、利用者の声を反映しながら、誰もが使いやすい交通環境を整え、地域全体の活性化につなげる。

中心市街地の北側と南側との回遊性の向上を促進



図 中心市街地エリアイメージ図

事業概要【神奈川県横浜市】

提案タイトル

生成AIを活用した自治体相談サービス「よこはまランタン」の全国展開モデル構築事業
— 医療分野における信頼性担保型AI社会実装 —

提案者

対象区域の概要

神奈川県横浜市

横浜市内全域

背景・課題

目指す将来像

- ・がんの情報が多く中でも治療理解の促進が可能となり、患者や家族が安心して療養に向き合える環境づくりに貢献
- ・医療従事者にとっては、説明補助ツールとして活用できるほか、基本的な相談対応をAIが担うことで、タスクシフトによる業務の効率化に寄与

解決すべき課題

自治体でのAI活用が求められる一方、「正確性」「責任の所在」「専門家関与」をどのように担保するかは全国共通の重要な課題となっている。
また、各自治体が迅速に導入できるよう、支援情報の取り込みや更新を標準化した運用モデルの整備を進めていく。

実装を目指す主な事業内容

○事業：生成AIを活用した自治体相談サービス「よこはまランタン」の全国展開モデル構築事業

活用技術

事業概要

・信頼できる医療・支援情報へのアクセスを整備
一般社団法人在宅がん療養財団が開発・運用してきた生成AIがん相談支援ツール「ランタン」を基盤として、横浜市の制度や支援情報等を新たに組み込み、地域版の「よこはまランタン」を構築。

生成AI(GPT)と検索拡張生成(RAG※)を組み合わせることで、医師など専門家が監修した信頼性の高い医療情報に加え、横浜市独自の制度・支援情報をスムーズに検索・参照できる仕組みを実現している。

※生成AI(LLM)に外部知識(ナレッジベースなど)を組み合わせ、より正確な回答を生成する技術。

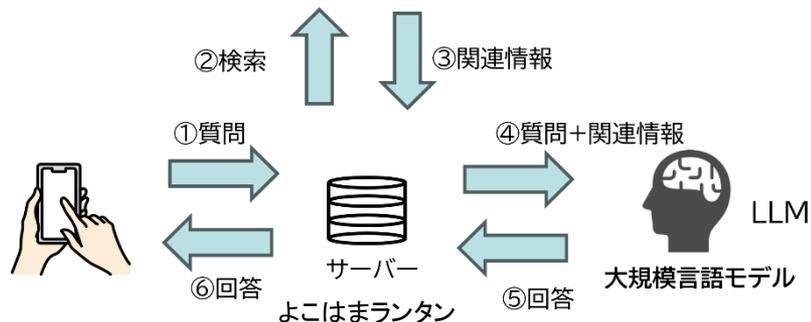
・24時間利用できるAI相談による市民支援の強化

スマートフォン等から、症状・治療等の疑問だけでなく、自治体の生活・支援などを匿名・無料で24時間相談できる仕組みを提供しており、幅広い内容をAIに相談可能。

外部地域(ナレッジベース)

よこはまランタン
(横浜市の制度や支援情報等)

ランタン
(医師など専門家が監修した信頼性の高い医療情報)



AI(生成AI)

事業概要【神奈川県相模原市】

提案タイトル	自動運転バスの導入により、既存バス路線の代替と運転士不足の解消を図るとともに、住み続けたい「選ばれるまち」を実現する。
提案者	対象区域の概要
神奈川県相模原市	神奈川県北西部に位置し、北部は東京都、西部は山梨県と隣接している。平成22年に政令指定都市へ移行した。人口：721,349人(令和2年国勢調査に基づく推計値)、面積：328.91平方キロメートル

■ 背景・課題

目指す将来像

- ・既存バス路線の代替と運転士不足の解消を図り、地域の足を確保する。
- ・住み続けたい「選ばれるまち」を実現するとともに、移住定住を促進し、地域経済を活性化する。

解決すべき課題

- ・運転士不足を要因とするバス路線の統廃合が見込まれ、既存バス路線の代替が必要である。
- ・生産年齢人口の減少により、消費の低迷や労働力不足等の地域経済の縮小が懸念される。

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：自動運転バス

活用技術

事業概要

- ・運行日：土・日曜日、祝休日
- ・運行時間：10時～16時の間に20分間隔で運行
- ・運行期間：1ヶ月(予定：11月中)
- ・運賃：1乗車 100円
- ※ただし、中学生以下の利用者及びその同伴者は無料
- 同条件を町田市民にも適用

自動運転

相模原駅から令和6年度に全面供用が開始された「相模原スポーツ・レクリエーションパーク」まで直通するルートで、子育て世代や子どもたちの安全な移動を実現するために選定。全区間において歩車分離されており早期レベル4自動運転の実装可能なルートである。将来的に既存バス路線において早期レベル4自動運転の実現に向けて取り組む。



運行ルート

- ①相模原駅北口
- ②小山公民館前
- ③相模原スポーツ・レクリエーションパーク入口前
- ④相模原スポーツ・レクリエーションパーク出口前
- ⑤宮下本町

事業概要【静岡県】

提案タイトル	静岡県次世代エアモビリティ社会実装プロジェクト
提案者	対象区域の概要
静岡県	富士山や駿河湾、伊豆半島や南アルプスなど豊かな自然に恵まれている。また、東海道新幹線・在来線・高速道路が連なり東西の交通網が発達しているほか、富士山静岡空港が県央部に立地。(人口:348万人、面積:7,777km ²)

■ 背景・課題

目指す
将来像

・日常生活の中で安全で自由な空の移動を享受できる社会
(社会実装(観光、生活交通、災害・救急等)と関連産業の振興)

解決すべき
課題

・民間事業者の参入促進 (参入を促す環境の構築)

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業: 次世代エアモビリティ導入促進事業

○事業: 静岡型航空産業育成事業

活用技術	事業概要
次世代エア モビリティ	社会実装の促進 民間事業者のビジネス化支援 ・運航ビジネスのモデル構築支援 ・離着陸場の選定・整備支援
	関連産業の振興 技術開発・製造支援 ・開発支援(実証フィールドの提供等) ・参入支援(ビジネスマッチング等)



<関連する取組>

- ・将来的な自動・自律飛行に向け、通信環境の整備が課題の一つとされていることから、新しい基地局として開発が進むHAPSの実装に向けて取り組む
- ・多様な交通手段を有機的に結びつけるため、新たな海の移動手段として開発中の「空飛ぶ船」の実装についても取り組む



事業の全体像

事業概要【静岡県袋井市】

提案タイトル

行動データを活用した要介護認定プロセスのデジタル化

提案者

静岡県袋井市

対象区域の概要

(令和7年4月1日現在) 人口:87,635人 面積:108.56km² 65歳以上人口:22,589人(25.8%) 75歳以上人口:11,920人
要支援・要介護認定者数:3,601人(15.7%) 袋井市は、静岡県西部の中央に位置し、JR・東名高速・国道1号など主要交通網が横断し、田園地帯と茶畑が広がり、太田川や原野谷川、遠州灘と、自然環境にも恵まれている。

背景・課題

目指す将来像

- ・AI・IoT・データ連携基盤を活用し、迅速かつ公平・公正な要介護認定が実現している状態。
- ・認定結果データが地域サービスと連携し、住民が切れ目なく適切な支援を受けられる社会。

解決すべき課題

- ・調査員や審査会委員の担い手不足、認定申請件数の増加により、認定の長期化・自治体負担増が生じている。
- ・紙・手作業中心の非効率なプロセスにより、曖昧な情報共有や進捗管理の煩雑さが発生している。

実装を目指す主な事業内容

○事業:介護施設の働き方改善と取得データの介護認定利活用事業

活用技術

事業概要

AI画像認識技術

介護施設の各ベッドにAI画像認識技術を搭載したセンサを設置。センサにより高齢者の危険行動を検知し、職員に画像付きで通知を行うことで施設職員の業務負担を軽減。
AI画像認識により取得した人行動データを活用し、高齢者のベッド回りの行動を客観的に評価し、主治医意見書、訪問調査作成時に参照することで評価者の負担軽減しつつ、適正な評価に繋げる。

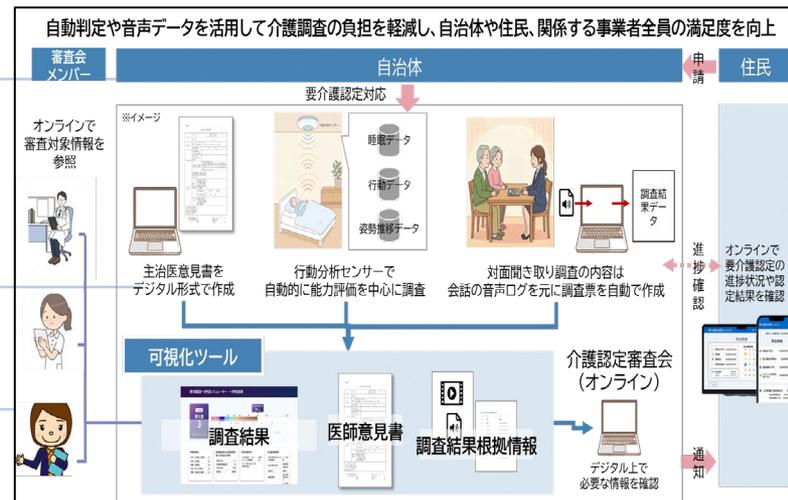
○事業:DXによる要介護認定審査会プロセスの改善事業

活用技術

事業概要

AIとデータ連携基盤

- ・画像IoT・対話型AI・AIOCR等を活用し、調査・意見書・審査資料をデジタル化・自動分析するDX事業
- ・認定ダッシュボードとデータ連携基盤により情報を一元管理し、審査の効率化・平準化・早期化を実現する



事業概要【愛知県東浦町】

提案タイトル	交通空白地域の解消と共助交通の未来～自動運転技術による持続可能な移動サービスの社会実装～
提案者	対象区域の概要
愛知県東浦町	東浦町は愛知県知多郡に位置し、面積は32.34平方キロメートル、人口は49,673人(2026年1月末時点)。農業が盛んで、ぶどうの生産地や徳川家康の生母、於大の方の出生地として知られています。

■ 背景・課題 ※提案事業の目指す将来像、解決すべき課題をそれぞれ2行程度で簡潔に記載すること。

目指す
将来像

- ・住民主体の持続可能な地域交通モデルの構築
- ・未来技術を活用した効率的で安全な移動の実現

解決すべき
課題

- ・地域交通システムの維持と改善
- ・共助交通の推進と交通弱者支援の強化

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：自動運転バス(End-to-End学習型AI)

活用技術

事業概要

自動運転バス
(End-to-End
学習型AI)
(※)

1. 地域交通空白の解消
交通空白地となっている生路・藤江小学校区に、高齢者や移動困難者を対象とした共助版ライドシェアを構築し、地域住民によるボランティア運転手体制を拡充。同時に、自動運転技術を仕組みに転用することで運転手不足の課題を解消し、持続可能な交通モデルを実現する。
2. 未来技術の導入
自動運転AI技術を活用した車両の社会実装を進めることで、安全性を確保しながら柔軟な移動選択肢を提供。
3. 連携による推進体制
地元住民、民間事業者、大学、行政が共同で参画し、持続可能な交通システムを目指すコンソーシアムを構築。

(※)End-to-End学習型AIとは

カメラやセンサーからの入力(入力データ)をそのままニューラルネットワークに入れ、ハンドル・アクセル・ブレーキの操作(出力データ)を直接導き出す技術のこと。「認識から制御まで一気通貫」で行うため、「End-to-End」と呼ばれ、より人間らしく滑らかで、複雑な状況でも対応可能な完全自動運転への転換点として注目されている。



東浦町内を運行しているコミュニティバス
東浦町運行バス「う・ら・ら」

事業概要【三重県四日市市】

提案タイトル

中枢中核都市における自動運転バスの導入による中心市街地回遊性向上

提案者

三重県四日市市

対象区域の概要

本市は、人口約30万人、面積206.50km²であり、東海エリアにおける西の中核都市として、臨海部のコンビナートや内陸部の半導体産業が集積し、全国有数の製造品出荷額を誇る産業都市である。

背景・課題

目指す将来像

- ・自動運転バス等の新技術を取り入れた交通手段を実現することで、まちなかへの来訪者や居住者の快適な移動を支援し、回遊性の向上を実現するとともに、楽しく移動できる交通環境づくりを構築する。

解決すべき課題

- ・中心市街地に人を惹きつけ、都市の価値向上を図るためには、中央通りの再編において、単なる空間整備にとどまらない新たな魅力づくりや、次世代モビリティ等のスマート技術の導入が求められる。
- ・近鉄四日市駅・JR四日市駅両駅間をはじめとする中心市街地において、まちなかの回遊性を向上させることが必要である。

実装を目指す主な事業内容

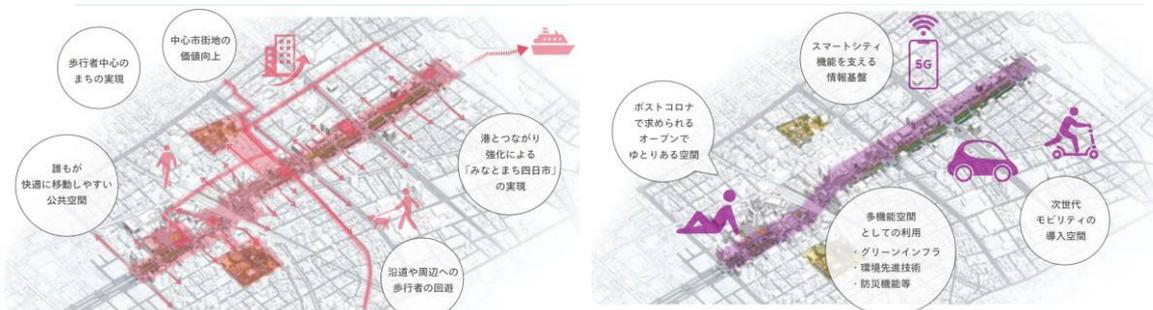
○事業：自動運転バス実装事業

活用技術

事業概要

自動運転

- ・居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの実現を目指す中央通り再編にあわせ、中心市街地の回遊性向上を目的に、近鉄四日市駅～JR四日市駅間等において、周辺の主要な公共施設（新図書館等）との連携も視野に、自動運転バスの実装を目指す。
- ・自動運転バスの走行や、走行に関連する技術検証に加え、自動運転等の新たな移動体験サービスを提供することで、中心市街地の魅力創出を図る。



中央通りのデザイン



令和7年度 自動運転実証実験の様子

事業概要【広島県尾道市】

提案タイトル

先進技術で尾道の海を次世代へとつなぐ

提案者

広島県尾道市

対象区域の概要

人口約12万人 面積約285㎡。瀬戸内のほぼ中央に位置するため、瀬戸内の十字路としての広域拠点としての優位性を有している。水産物については、多くの島しょを有する複雑な地形から、多種多様な地付き水産資源がある。

背景・課題

※提案事業の目指す将来像、解決すべき課題をそれぞれ2行程度で簡潔に記載すること。

目指す将来像

- ・デジタルマップでの情報の見える化から持続可能な水産業の確立（IoT技術を活用した水産業の省力化による担い手不足の解消）
- ・地産地消を推進し、地魚の価値の向上による漁業者の所得向上。（リアルタイム更新のニーズマッチで水産物の消費拡大）

解決すべき課題

- ・水産業の持続性が低下（漁獲減・魚価低迷・燃油高騰・高齢化と後継者不足）
- ・観光の周遊・消費に波及しにくい（情報分散で「今どこで何ができるか」が伝わらない）

実装を目指す主な事業内容

○事業：地先資源増加対策

活用技術

事業概要

IoT

・水揚げ状況などが見える化（漁獲状況、栽培漁業の効果検証）することで、より効果的な栽培漁業を推進していくとともに、需要に応じた養殖事業の展開により、水産物の安定供給を目指す。



放流事業の効果調査の試験操業の様子

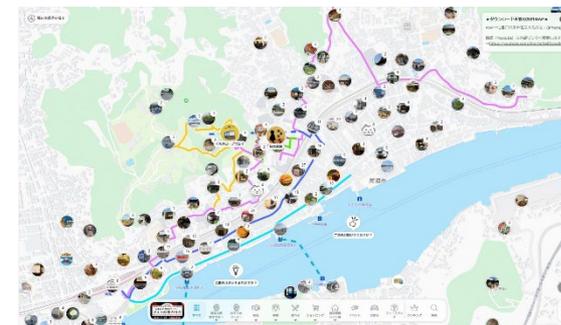
○事業：魚の出荷情報のリアルタイム共有

活用技術

事業概要

IoT

・市場や地魚を取り扱う店舗などで、デジタルマッピングを活用し、リアルタイムに出荷情報やグルメ情報を広く市民・観光客に向け発信することで地魚の消費拡大を目指す。



尾道デジタルマップ

事業概要【宮崎県都農町】

提案タイトル

次世代モビリティによる活気あるまちづくりを目指す近未来技術実装事業

提案者

宮崎県都農町

対象区域の概要

※都農町は県都宮崎市と工都延岡市の間に位置し、総面積は102.11km²を有している。気候は温暖で日照時間が長く第一次産業を主とした自然が豊かな地域である。人口は、昭和25年の12,675人をピークに減少が顕著となっており、令和5年の人口では、9,577人となっている。

目指す将来像

- ・誰もが活躍し、多様性に富む豊かで安心安全な地域社会をつくり、地域の交流を通じて地域共生社会の実現に取り組む。
- ・SOCIETY5.0に向けて、先端技術を地域の特性に応じて有効に活用することで人間中心の豊かな社会の実現を目指す。

解決すべき課題

- ・基幹産業である第1次産業を軸とした発展が不可欠であり、新技術を活用した高度化、就業環境の改善と育成が必要である。
- ・マーケットの創出と無人航空機のコスト低減に向けた取組みによる事業化の確立が必要。

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：ドローンを活用した新産業創出

活用技術

事業概要

ドローン
IoT
ビックデータ

- ・中山間地域など地域課題の解決に向けた実証実験
- ・道の駅を拠点とした農産物の集荷業務における事業化
- ・日用品や医薬品といった生活必需品の宅配業務
- ・防災DXプラットフォームを導入し、災害時と平常時の利用体制の構築
- ・農地・山林のデータを活用した鳥獣被害対策に向けた取組み



道の駅を拠点とした物流ネットワーク

未来技術を活用して地域課題の解決を目指す自治体を支援する事業 ※未来技術…AI、IoT、自動運転、ドローン等

<自治体が抱える主な課題>

自治体職員の皆様

こんな悩みはございませんか？



その課題、**未来技術**を使って解決しませんか？

<支援体制>

現地支援体制（地域実装協議会）の構築

- ・関係府省庁を**地域実装協議会の構成員として選定**
- ・関係府省庁の中から**現地支援責任者を選定**



メリット!

- ・事業事務の簡素化
- ・関係府省庁が有する知見をもとに**助言がもらえる**
- ・現地支援責任者がワンストップ窓口となっていることから、**問合せ先に悩まなくて済む**

イメージ図



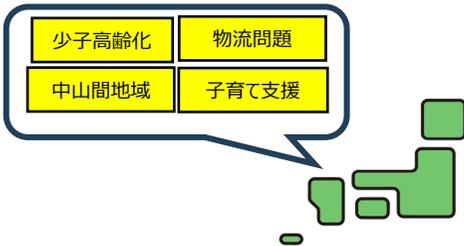
関係府省庁の例

※事業内容は自治体によって内閣府で異なります。

- | | | |
|-------|--------|---------|
| ・内閣府 | ・文部科学省 | ・環境省 |
| ・内閣官房 | ・厚生労働省 | ・デジタル庁 |
| ・警察庁 | ・農林水産省 | ・こども家庭庁 |
| ・金融庁 | ・経済産業省 | |
| ・総務省 | ・国土交通省 | など |

<主な事業内容>

① **未来技術を活用して地域課題を解決したい**



地域ごとの様々な課題

② **関係府省庁による伴走型支援を実施**



**内閣府による
各省庁との連携**

③ **3～5年での社会実装を目指す**



**未来技術を活用した
課題解決**

【内閣府】未来技術社会実装事業の概要（参考）

概要

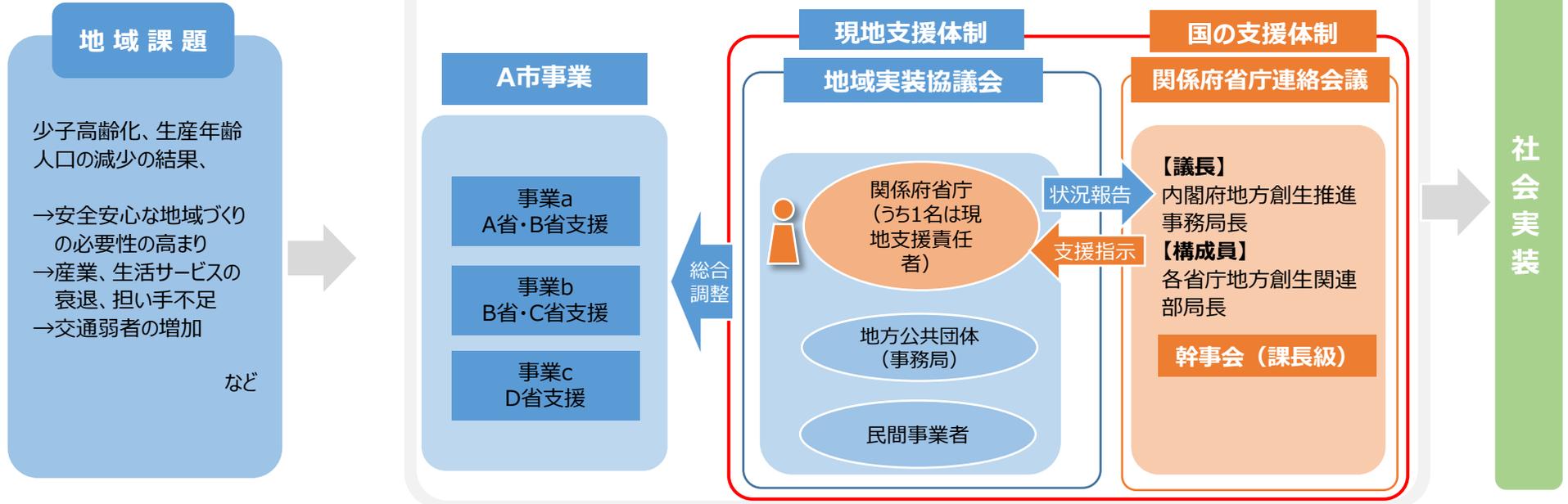
- 未来技術社会実装事業は、「地方創生の基本構想※¹」や「地方創生に関する総合戦略※²」において、地方創生の推進に資する施策として、本事業が組み込まれています。
- 事業の概要としては、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術を活用した地域課題の解決と地方創生を目指し、先導性と横展開可能性等に優れた地方公共団体の取組に対して、未来技術の**社会実装に向けた現地支援体制（地域実装協議会）を構築し、関係府省庁による総合的な支援を行う事業**です。
- 未来技術を活用した地方創生に関する提案を地方公共団体から募集し、H30年度からR7年度までに合計59事業を選定。**3年間で一部実装、5年間で本格実装を目指し複数年にわたる伴走型支援を行います。R7年時点で13事業※³に対して支援を実施中です。**

※¹ 「地方創生2.0基本構想」（令和7年6月13日閣議決定）

※² 「地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～」（令和7年12月23日閣議決定）

※³ H30年度からR7年度までの選定合計59事業のうち46事業はR6年度末までに支援終了。

事業イメージ



未来技術社会実装事業 一覧

支援継続中 21団体 R4選定 R5選定 R6選定 R7選定 R8選定
支援終了 50団体 終了

北海道・東北地方

- 盛岡市 稚内市
- 北海道・岩見沢市・更別村 須賀川市
- 仙北市 陸前高田市 仙台市 旭川市

関東地方

- 常陸太田市 孺恋村 東庄町
- 袖ヶ浦市 足立区 八王子市 横浜市 相模原市
- 栃木県 秩父市 和光市 千葉市 さいたま市
- 川口市 前橋市 茨城県・つくば市 潮来市

九州・沖縄地方

- 都農町
- 延岡市 嬉野市
- 伊仙町 長島町
- 対馬市 大分県
- 宮崎県・串間市

中国・四国地方

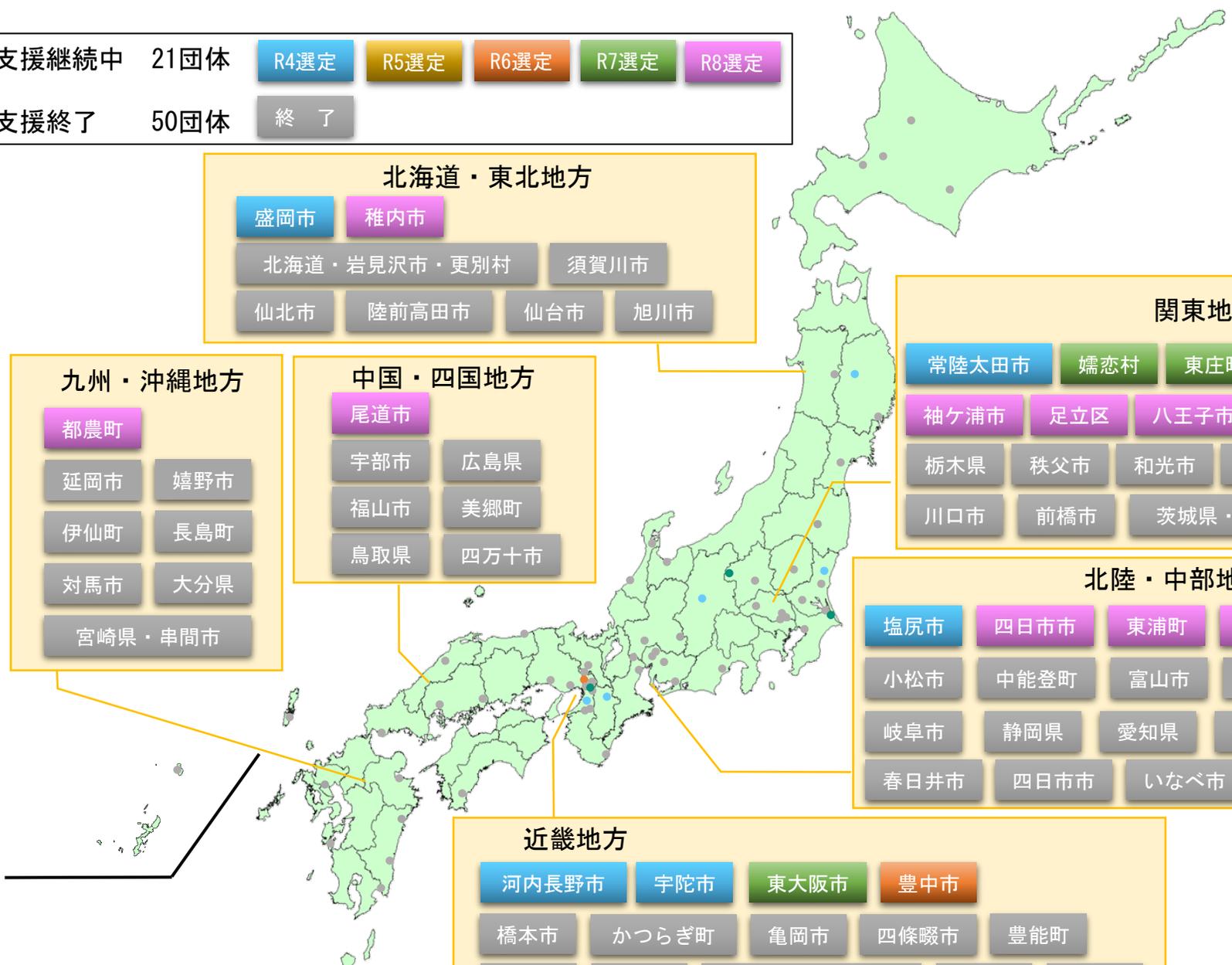
- 尾道市
- 宇部市 広島県
- 福山市 美郷町
- 鳥取県 四万十市

北陸・中部地方

- 塩尻市 四日市市 東浦町 静岡県 袋井市
- 小松市 中能登町 富山市 中津川市 豊橋市
- 岐阜市 静岡県 愛知県 豊田市
- 春日井市 四日市市 いなべ市

近畿地方

- 河内長野市 宇陀市 東大阪市 豊中市
- 橋本市 かつらぎ町 亀岡市 四條畷市 豊能町
- 三郷町 太地町 大阪府・河内長野市 神戸市 高砂市



未来技術社会実装事業 支援継続事業一覧

	提案者	提案タイトル	主な活用技術
令和4年度 選定	岩手県盛岡市	未来技術チャレンジプラットフォーム『MULTI MONO MORIOKA』	AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング等
	茨城県常陸太田市	自動運転の社会実装を見据えたMaaS×eコマース推進事業	自動運転、キャッシュレス、ブロックチェーン等
	長野県塩尻市	塩尻型MaaS×高度無人自動運転サービス社会実装プロジェクト	AI、IoT、自動運転等
	大阪府河内長野市	「地域力」と「未来技術」の融合による「豊かな生活」実装モデル事業	AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング等
	奈良県宇陀市	全世代が住み続けられるための移動手段の社会実装	自動運転
令和6年度 選定	大阪府豊中市	子育てフリータイムプロジェクト～子育て世帯に自由な時間を～	AI、IoT、クラウドコンピューティング等
令和7年度 選定	群馬県嬬恋村	ドローンを活用した「フェーズフリー型」スマート農業およびスマート防災DX	AI、IoT、ビッグデータ、ドローン
	千葉県東庄町	利根川を利用したドローンによる物流ルート設置事業	ロボット（ドローン含む）、VR/AR
	大阪府東大阪市	自動運転バスの完全！民間事業による商業運行化プロジェクト	自動運転
令和8年度 選定	北海道稚内市	自動運転の実装による「安心・快適・クリーン」なまちづくりの実現	自動運転
	千葉県袖ヶ浦市	「想像を超える」袖ヶ浦市のみらいモビリティ～自動運転社会実装推進プロジェクト～	自動運転
	東京都足立区	「持続可能な公共交通を実現する未来都市・あだち」へ向けた自動運転実装事業	自動運転
	東京都八王子市	産官学共創による「八王子市地域未来戦略」	自動運転、AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング、ビッグデータ
	神奈川県横浜市	生成AIを活用した自治体相談サービス「よこはまランタン」の全国展開モデル構築事業_医療分野における信頼性担保型AI社会実装	AI
	神奈川県相模原市	自動運転バスの導入により、既存バス路線の代替と運転士不足の解消を図るとともに、住み続けたいくなる「選ばれるまち」を実現する。	自動運転
	静岡県	静岡県次世代エアモビリティ社会実装プロジェクト	次世代エアモビリティ
	静岡県袋井市	行動データを活用した要介護認定プロセスのデジタル化	AI、IoT、ビッグデータ、VR/AR、ロボット、ブロックチェーン
	愛知県東浦町	交通空白地域の解消と共助交通の未来 ～自動運転技術による持続可能な移動サービスの社会実装～	自動運転、AI
	三重県四日市市	中枢中核都市における自動運転バスの導入による中心市街地回遊性向上	自動運転、AI、5G、クラウドコンピューティング、キャッシュレス
	広島県尾道市	先進技術で尾道の海を次世代へとつなぐ	AI、IoT、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、キャッシュレス
	宮崎県都農町	次世代モビリティによる活気あるまちづくりを目指す近未来技術実装事業	ドローン、IoT、ビッグデータ

支援期間満了事業一覧 1/2

	提案者	支援期間	提案タイトル	主な活用技術
支援期間満了事業 50事業のうち 25事業	茨城県、つくば市	H30-R2	高齢社会の課題を解決する近未来技術（Society5.0）社会	自動運転、ロボット
	埼玉県川口市	H30-R2	先端技術体験がもたらす地域振興と人材育成および公共交通不便地域の解消	自動運転
	愛知県	H30-R2	「産業首都あいち」が生み出す近未来技術集積・社会実装プロジェクト	自動運転、ロボット、ドローン
	愛知県豊田市	H30-R2	近未来技術等を活用した「AIケアシティ」形成事業	AI
	京都府亀岡市	H30-R2	亀岡アクティブライフに向けた近未来技術実装事業	自動運転、ドローン
	北海道、岩見沢市、更別村	H30-R4	世界トップレベルの「スマート一次産業」の実現に向けた実証フィールド形成による地域創生	自動運転、ロボット、ドローン
	宮城県仙台市	H30-R4	防災・減災分野におけるドローン活用仙台モデル構築事業	ドローン
	千葉県千葉市	H30-R4	幕張新都心の中核とした近未来技術等社会実装によるユニバーサル未来社会の実現	自動運転、ドローン
	愛知県豊橋市	H30-R4	近未来技術等を活用した「AIケアシティ」形成事業	AI
	愛知県春日井市	H30-R4	高蔵寺ニューモビリティタウン構想事業	自動運転
	大阪府、河内長野市	H30-R4	少子高齢化社会における自動運転技術を活用した新たな移動サービスの創出と健康寿命の延伸 ～社会保障費等の抑制による持続的なまちの発展をめざして～	自動運転
	兵庫県神戸市	H30-R4	地域に活力を与える地域交通IoTモデル構築事業 -神戸市における自動運転技術を活用した住み継がれるまちの実現-	自動運転
	鳥取県	H30-R4	インフラ情報・管理技術を活用した地域安全マネジメントの展開	AI、IoT
	大分県	H30-R4	遠隔ロボットアバターを通じた世界最先端地方創生モデルの実現	ロボット
	三重県四日市市	R1-R3	AI・IoTを活用し、働き方改革と新たなビジネスの創出を実現するスマート産業都市	AI、IoT
	広島県	R1-R3	AI/IoT等実証プラットフォーム事業「ひろしまサンドボックス」	自動運転、ロボット、キャッシュレス 等
	宮崎県、串間市	R1-R3	地域資源とスマート農業技術を融合した次世代農業振興拠点の構築	自動運転、ロボット
	秋田県仙北市	R1-R5	近未来技術を活用した仙北市版グローバルイノベーション	自動運転、ドローン
	富山県富山市	R1-R5	富山市スマートシティ推進基盤利活用促進事業	AI、IoT
	岐阜県岐阜市	R1-R5	階層構造の公共交通ネットワークへの自動運転の展開により地域先進モビリティシステムを構築する地域活性化事業	自動運転
	静岡県	R1-R5	「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMART CITY	AI、IoT、自動運転
	広島県福山市	R1-R5	先端技術を活用した地域課題解決実証事業 ～「まるごと実験都市福山」の推進～	自動運転、ロボット、キャッシュレス
	茨城県潮来市	R2-R4	道の駅「いたこ」・水郷潮来バスターミナルの地域拠点を接続する自動運転サービス事業	自動運転 等
	奈良県三郷町	R2-R4	5Gを軸とした全世代全員活躍のまち「スマートシティSANGO」	自動運転 等
	島根県美郷町	R2-R4	映像告知やドローン等の未来技術を活用した遠隔医療実装による美郷町版医療福祉産業イノベーションの実現	AI、ドローン、キャッシュレス

支援期間満了事業一覧 2/2

	提案者	支援期間	提案タイトル	主な活用技術
支援期間満了事業 50事業のうち 25事業	高知県四万十市	R2-R4	自動運転技術利活用による地域公共交通システムの構築	自動運転
	長崎県対馬市	R2-R4	対馬スマートシティ推進事業	AI、IoT、自動運転 等
	栃木県	R2-R6	とちぎの林業イノベーション by Society5.0	AI、IoT、5G、自動運転、ドローン
	埼玉県秩父市	R2-R6	山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業	IoT、自動運転、ドローン 等
	埼玉県和光市	R2-R6	地域拠点間を接続する自動運転サービス導入事業（和光版MaaS構想案）	自動運転 等
	石川県小松市	R2-R6	小松市における2大交通拠点をつなぐ自動運転バスの導入事業	自動運転 等
	大阪府四條畷市	R2-R6	けいはんな学研区域（田原地区）における地域主体の持続可能なまちづくり	AI、IoT、自動運転 等
	山口県宇部市	R2-R6	レジリエントで持続可能な社会を創る「スマートシティ宇部プロジェクト」	AI、IoT、VR/AR 等
	鹿児島県長島町	R2-R6	先端技術を活用した長島大陸未来都市実証事業	IoT、ドローン、VR/AR 等
	北海道旭川市	R3-R5	ドローン・IoT等の未来技術を活用した非対面医療サービスの構築	AI、IoT、ロボット、ドローン 等
	岩手県陸前高田市	R3-R5	自動運転サービスの活用による高田松原津波復興祈念公園等における伝承活動促進事業	自動運転
	群馬県前橋市	R3-R5	地域「講」モデルでの地域金融再興に向けたDX実証事業	キャッシュレス・ブロックチェーン
	埼玉県さいたま市	R3-R5	流行予測AIを活用した「感染症予報サービス」の社会実装及びMaaS連携	AI、IoT
	石川県中能登町	R3-R5	デジタルを活用した障がい攻略先進のまちづくり	AI、IoT、ロボット、VR/AR
	和歌山県太地町	R3-R5	自動運転やドローン等未来技術を活用した高齢者が幸せを感じるまちづくり事業	AI、自動運転、ドローン
	岐阜県中津川市	R3-R7	超高速交通網との接続にむけた自動運転ネットワークの導入と地域拠点整備による新たな人の流れ創出事業	自動運転、VR/AR
	佐賀県嬉野市	R3-R7	「I♡URESHINO」新たな交流拠点の誕生を契機に 取り組む「Withコロナ観光まちづくり」	AI、IoT、自動運転、VR/AR 等
	宮崎県延岡市	R3-R7	市民一人ひとりが主役の時代をつくる延岡市の スマートシティ推進事業	AI、自動運転、キャッシュレス
	鹿児島県伊仙町	R4-R5	高齢者・障がい者向けの自動運転パーソナルモビリティ導入事業	AI、IoT、自動運転 等
	三重県いなべ市	R4-R6	健康で元気な高齢者！！誰一人取り残されないデジタル社会の実現 ～高齢者が自然とデジタルを活用できる環境の構築～	AI、IoT、ビッグデータ 等
	大阪府豊能町	R4-R6	コンパクトスマートシティパーク データダッシュボード	AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング 等
	兵庫県高砂市	R4-R6	たかさご未来資産を貯めようプロジェクト	AI、IoT、ビッグデータ 等
	和歌山県かつらぎ町	R4-R6	交流拠点開設を契機に取組むメタバース技術を活用した持続可能なまちづくり事業 ～新たな関係性によるDX時代のまちづくり「かつらぎ町モデル」の実現～	AI、IoT、クラウドコンピューティング 等
	和歌山県橋本市	R5-R6	「それ、ごみじゃない ～ごみ資源で自動車が走るまで～」橋本市における市民協働型廃棄物処理システムの構築	AI、IoT、自動運転、ロボット 等
	福島県須賀川市	R5-R7	自動運転を活用した翠ヶ丘講演の利便性、快適性の向上とにぎわいの創出	自動運転